

# 2023年度 事業報告

# 2023年度事業報告

社会福祉法人 札幌この実会

2023年度は、新型コロナウイルス感染症の分類が5類へと引き下げられ、様々な活動の規制がなくなり、コロナウイルスとの闘いにも一区切りがつかしました。当法人でも感染症予防対策に十分努めながら、これまで中止となっていた旅行や忘年会等の行事を再開しています。利用者の皆さんには、長い間様々な活動の制限をお願いしていましたが、久しぶりの再開にたくさんの笑顔を見ることができました。

これまで懸案事項となっていたハラスメント防止規程の改定は、就業規則等の改定も含めて9月から3月までの理事会で意見交換を行い、決議しました。内容については、厚生労働省のモデル就業規則に合わせた形に改定をしています。

将来展望と具体策の取り組みである「みらい会議」では、各職員との面談を行い、その中で「取り組みの5つの柱」から、取り組みたいテーマの希望を取り、その後、各チームに分かれ具体策の検討を行いました。これにより、各職員が主体的に各チーム内でテーマを設定し、これまで課題とされてきた「どうすれば職員を巻き込みながら具体策に取り組めるか」を改めて認識し、スタートを切りました。また、12月より十分な議論の時間を確保するために、みらい会議の開催を隔月から毎月に変更しています。

当法人の「人材」に関する課題の1つとしてあげられていた「育成」は、当法人の元職員で、キャリアコンサルタントとして経歴がある大浦氏の人事コンサルタントを2023年度より導入しています。これまでの内容は主に、各職員が自律的に仕事をするための意識改革の研修(エンパワメント、コーチング)を受け、少しずつではありますが、組織変容が見られています。

職員確保は、厳しい状況が続いておりますが、中途採用については、事業所ごとに求人媒体等を活用し、必要に応じて確保することができました。しかし、新卒採用は問い合わせやインターンシップ等への参加こそありましたが、確保までつなげることはできませんでした。次年度以降、奨学金返還支援(代理返還)制度や働き方の見直しを行い、若手へのアピール力を高め確保へつなげていきます。

## 1. 理事会・評議員会について

2023年度に実施した理事会並びに評議員会の状況は次のとおりです。

| 開催年月日              | 機 関    | 決議事項                            |
|--------------------|--------|---------------------------------|
| 2023年<br>6月3日      | 理事会    | 2022年度事業報告及び決算の承認               |
|                    |        | 任期満了に伴う役員改選に係る候補者の推薦            |
|                    |        | ハラスメント防止規程 定時評議員会の招集            |
| 2023年<br>6月24日     | 定時評議員会 | 2022年度事業報告 2022年度決算の承認          |
|                    |        | 【任期満了に伴う改選】次期役員の選任              |
| 2023年<br>6月24日     | 理事会    | 理事長の選定 相談役の委嘱                   |
|                    |        | 施設長(管理者)の任免 この実支援センター水道施設移設設計業務 |
| 2023年<br>9月16日     | 理事会    | 就業規則等の改定                        |
|                    |        | 共同生活援助「ケアホームきらり」スプリンクラー整備工事     |
|                    |        | 「であいの家」解体及び車庫新設工事 北海道電力の次期提案    |
| 2023年<br>12月9日     | 理事会    | 就業規則等の改定 補償契約及び役員等損害賠償責任保険契約    |
|                    |        | 給食業務委託に係る金額改定 2023年度補正予算の同意     |
|                    |        | 2024年度この実支援センター車両購入 評議員会の招集     |
| 2023年<br>12月23日    | 評議員会   | 2023年度補正予算の承認                   |
| 2024年<br>3月16日     | 理事会    | 評議員選任・解任委員の退任及び選任               |
|                    |        | 管理者(相談室みすくうえる)の任免               |
|                    |        | 役員等報酬規程の改定の同意                   |
|                    |        | 評議員選任・解任委員会運営規程の改定              |
|                    |        | 2024年度事業計画及び収支予算の同意             |
|                    |        | 2024年度職員体制 就業規則等の改定             |
|                    |        | 給与規程の改定 2024年度人事コンサルタント業務       |
| 契約の自動更新の承認 評議員会の招集 |        |                                 |
| 2024年<br>3月23日     | 評議員会   | 役員等報酬規程の改定                      |
|                    |        | 2024年度事業計画の承認                   |
|                    |        | 2024年度収支予算の承認                   |

## 2. 監事監査について

2023年度に実施した監事監査は次のとおりです。

第1回 2023年5月23日(平岡監事)、5月25日(紺野監事)

第2回 2023年8月31日(平岡監事、高橋監事)

第3回 2023年11月24日(平岡監事) 11月29日(高橋監事)

第4回 2024年2月27日(平岡監事) 2月28日(高橋監事)

### 3. 事業指定について

2023年度における事業指定の変更は次のとおりです。

(4月)

この実らいふネット、住居の定員変更により、定員 48 名を 49 名に変更

(5月)

この実らいふネット、運営規程を変更(従業者の職種他、利用者から受領する費用の額等)

(6月)

相談室みすくうえる、相談支援専門員を変更

(7月)

この実らいふネット、住居の定員変更により、定員 49 名を 48 名に変更

(8月)

この実支援センター、管理者を変更

(11月)

この実らいふネット、2住居定員変更(1増1減、事業所定員変更無)

(12月)

この実らいふネット、住居の定員変更により、定員 48 名を 50 名に変更

(3月)

この実らいふネット、2住居定員変更(1増1減、事業所定員変更無)

### 4. 事業運営について

2023年度に実施した事業の運営状況は次のとおりです。

#### この実サポートステーション

■生活介護事業 この実サポートステーションすてっぷ

【定員】40 人 【年間利用者延べ人数】10,389 人(新方式 7,671 人)

【平均利用者数】38.5 人(新方式 28.5 人) 【平均区分】4.6

【体制】福祉専門職員配置等 重度障害者支援体制 食事提供体制 送迎体制

■短期入所事業 りらっく

【定員】6 人 【年間利用者延べ人数】1,133 人 【利用者実人数】23 人

【体制】食事提供体制

## 1. 重点目標

令和5年の重点目標「支援現場における個々の職員による創意工夫の発揮」については、活動に関する提案や問題が見られるケースについての改善策などを積極的に出し合ってもらい、個々の職員のモチベーションを上げていくことを狙いとしていましたが、結果として一步踏み込んだ提案や処遇についての自由闊達な議論を現場の中に定着させるまでにはできずに終わりました。

## 2. 個別支援計画

9月中旬より前期分についての支援会議を実施し、支援の目標および具体的な支援の内容、留意点について、必要に応じた変更、修正を加えています。2月末より後期分についての支援会議を実施し、次年度の個別支援計画を作成しています。

## 3. 生活介護事業所すてっぷ

### (1) 日中活動

#### 【はたら〜く】

当年度より事業所本体と交流ホーム1階ホールに分散しての活動からコロナ禍以前の体制に戻しています。

活動内容:箱折り、創作活動、散策、レクリエーション、運動

#### 【盤溪・森林農場】

前年度で馬の飼育および腐葉土生産を終了して、当年度は環境整備とウォーキングを軸にして活動を行いました。

#### 【余暇活動】

コロナウイルスの感染法上の取り扱いの5類移行を踏まえて、余暇活動全般を年度開始時からコロナ禍以前の形式に戻しています。選択制のクラブ活動4種類を年度内に4回ずつ実施しました。

### (2) 行事

この実オータムフェスティバル(9月)、法人忘年会(11月)、クリスマス会(12月)、新年会(1月)を行っています。また、道内1泊旅行では、3つのコースから選択してもらって実施しています。宿泊が難しい方については日帰り旅行を提供しています。

## 4. 保護者との連携

親切、丁寧であることを基本にしながら保護者への対応にあたりました。

#### ・主な取り組み:

個別懇談(通所保護者を対象に実施)、保護者会(5月、8月、12月の3回実施)、送迎支援

## 5. 食事

利用者への「安全安心な食事の提供」のための配慮を怠らずに業務に当たりました。年度を通して事故等の発生はありませんでした。

## 6. 健康管理

引き続き看護師が主導して利用者への健康管理および安全、衛生についての支援にあたりました。例年通り利用者の健康診断、インフルエンザワクチン接種を実施しています。

## 7. 短期入所らっく

単独型短期入所棟として、当年度も主に通所利用者の宿泊体験や、その家族の休息のために宿泊の受け入れを行いました。

当年度は1日の宿泊人数の制限は設けず、最大6名までの宿泊の受け入れを再開しています。前年度途中から停止していた外部からの利用者(2名)の宿泊受け入れについても再開しました。

## この実支援センター

### ■生活介護事業 この実支援センター おりーぶ

【定員】40人 【年間利用者延べ人数】9,096人(新方式 6,314人)

【平均利用者数】33.7人(新方式 23.4人) 【平均区分】4.6

【体制】福祉専門職員配置等 重度障害者支援体制 食事提供体制 送迎体制

新型コロナウイルスが猛威を振るう中でも、感染予防や感染防止に対する意識の高まりや、ハード面の整備が当たり前となり、施設内でも施設外でも安心安全に過ごす方法が確立された一年でした。その中で出来ることを見出し、個別での外出が十分に出来ない中、新型コロナウイルスの感染状況をみながらではありましたが、感染予防を十分に行なった上で、月に一度は外出や昼食会などの行事を実施し、利用者さんが外に出る機会を提供するよう心掛けました。

一方で、数年続いたコロナ禍により外に出る機会が減少したことや、加齢による運動不足・肥満が表出してきた一年でした。加えて加齢に伴う運動機能の低下から転倒リスクも高まってきたため、午前や午後の活動を通して体を動かせるように取り組みました。そのため今年度は、年齢や体力を考慮した取り組みとして、作業活動を継続しながら、レクリエーションや余暇活動を多く取り入れています。一方で、見守りや声かけ等、介助の程度を高めて事故防止に努めています。加齢に伴う体力や認知機能の低下などから、活動を提供する上での事故防止や安全確保についての取り組みの強化、職員のスキルアップなど、来年度に向けての課題が表出した一年となりました。来年度に向けては、先述した課題や利用者さんの QOL 向上に努めてまいります。

■就労継続支援B型事業 この実支援センター うえるなつつ

【定員】15人 【年間利用者延べ人数】3,328人 【平均利用者数】12.4人

【体制等】福祉専門職員配置等 就労移行支援体制 施設外就労

昨年度の反省や経験を活かし、コロナ禍においてもほぼすべての活動を滞ることなく進めることが出来ました。グループホームの閉鎖に伴い、活動内容が大幅に変更とはなりましたが、利用者や保護者への説明を都度行ない、大きな混乱はありませんでした。昨年度に引き続き、新型コロナウイルス流行の影響を受け、見学の希望者が少なく、実習生に至っては0人となってしまいました。

今年度もコロナ禍の余波があり、外出の機会を設けることがあまり出来ませんでした。コロナウイルス感染状況が落ち着いている時期には、エスコンフィールドの工事現場の見学や、赤レンガテラスのビュッフェレストランでの新年会等、少ない回数ながらも利用者のニーズに沿った行事を計画することが出来ました。

一方で6年間この事業を行ってきて、色々な課題や業務上の問題等も出てきており、今後の方向性や活動内容を含め、検討する事となりました。

## コミュニティライフこの実

以前から課題であった高齢化について、介護度の高まりや支援の質の変化が顕著になってきており、本人のニーズに合わせた暮らしの場を提供する為、各ホームでの役割を明確にして、ライフステージに合った支援を提供できるよう全体を見直し11月に女性の利用者の引越しを行いました。

外出や帰省については、新型コロナウイルスが5月に5類になった後は徐々にコロナ禍前の状態に戻り楽しみの活動を行うことが出来ました。

2月に「脳腫瘍」を発症して入院した女性利用者について、在宅での抗がん剤治療に移行した際に受入れを行う為、日中サービス支援型である「この実みなぼっけ・ぷらむ」を女性利用者のホームにすることを検討しました。

入浴時に湯船へ入る為の補助として2023年6月15日にらいむの浴室に介助用リフトを導入しました。

■共同生活援助事業 この実らいふネット

【定員】50人 【共同生活住居】9ヵ所

【年間利用者延べ人数】16,969人 【平均利用者数】46.4人 【平均区分】4.2

【体制】介護サービス包括型 福祉専門職員配置等 夜間支援体制  
重度障害者支援職員配置 医療連携体制

利用者の高齢化・重度化については、1名が退所して藻岩この実会に入所しています。また、1名は精神症状が悪化し入院後そのまま退所しています。

新規利用者については、12月に「この実サポートステーション」を利用している方2名を受入れています。

11月に女性のホーム見直しを図り引越しを行いました。このことで、認知症の方や強度行動障害を認められる方が、落ち着いた生活を送ることが出来るようになっていきます。

#### ■ 共同生活援助事業 この実みなぼっけ

【定員】19人 【共同生活住居】2ヵ所

【年間利用者延べ人数】6,755人 【平均利用者数】18.5人 【平均区分】5.0

【体制】日中サービス支援型 福祉専門職員配置等 看護職員配置体制  
重度障害者支援職員配置

#### ■ 短期入所事業 この実みなぼっけ

【定員】1人 【年間利用者延べ人数】75人 【利用者実人数】2人

【体制】常勤看護職員等配置 食事提供体制

日中を「みなぼっけ」で過ごす方については、週に1度は外出の機会を設けました。身体に麻痺のある方は保護者の協力も得ながらリハビリや外出などへの意欲を高め生活機能の維持に努めました。また、別の方が12月に脳梗塞の後、「慢性肺血栓塞栓性肺高血圧症」の診断を受け酸素の投与が始まり、ホーム内で安静に生活する事になりました。高次脳機能障がい診断を受けている方は体力面なども考慮して、午後はホームで過ごすようになっています。

短期入所については、北の沢デイセンターからの依頼で令和5年1月より1名の男性利用者を受け入れています。本人の特性で他の利用者との関係作りが難しく8月で終了しています。

## 相談室みすくうえる

#### ■ 特定相談支援事業 相談室みすくうえる

障害福祉サービス等の利用計画の作成(計画相談支援)216件

#### ■ 一般相談支援事業 相談室みすくうえる

地域生活への移行に向けた支援(地域移行支援・地域定着支援)0件

平成 31 年 4 月、社会福祉法人札幌この実会「相談室みすくうえる」を開設し、5 年が経ちます。

現在、契約件数は 80 名（札幌この実会 35 名、藻岩この実会 41 名、その他 4 名）でサービス利用計画の作成や定期的（3 ヶ月・6 ヶ月）なモニタリングを主に行っています。今年度は、6 名（自法人の新規のケース 1 名、藻岩この実会セルフプランからの移行 5 名）契約しています。

藻岩この実会第 2 この実会・グループホーム利用者で長期入院や死亡によりサービス利用行わなくなったケースもありました。

契約しているケースで、通所から重度グループホームを希望され、恵庭のグループホームと生活介護を紹介し繋げています。

藻岩この実会とは連携をとり、令和 6 年度にも何名かの利用者を受け入れる予定になっています。

今年度は他の事業所への訪問が少なかったため、状況をみながらではありますが、事業所訪問や連携が取れるようにしていきたいと思えます。

## **5. 地域における公益的な取り組みについては、**

2023 年度の地域における公益的な取り組みは、コロナの感染状況を鑑みながら、外作業班による地域貢献活動、福祉除雪、清掃活動、及び福祉総合相談を行いました。また、みらい会議（Ⅳ）「外部に開かれた運営を目指す」チームの課題の 1 つとして検討を行いました。

# 2023年度 決算の概要

社会福祉法人 札幌この実会

2023年度の事業活動計算では、法人合計(サービス活動+サービス活動外)で収益が約5億561万円(※1)の一方、費用が約4億9400万円(※2)となり、経常増減差額はプラス約1162万円となりました。

(※1)…サービス活動収益・約5億98万円+サービス活動外収益・約464万円

(※2)…サービス活動費用・約4億8969万円+サービス活動外費用・約431万円

次に当該差額に特別増減差額(マイナス約286万円)を加算した当期活動増減差額はプラス約875万円となり、更に国庫補助金等特別積立金のマイナス約427万円と合わせて、純資産は前年度から約449万円増加して約9億9163万円となりました。

前年度に比べ、収益がプラス約1547万円(※3)の一方、費用はプラス約302万円(※4)となり、経常増減差額は前年度のマイナス約83万円から約1245万円増加しました。

(※3)…収益増の主な要因

【障害福祉サービス等事業収益】…プラス約1672万円

(日中活動:プラス1177万円、GH:プラス約436万円、相談支援事業:プラス約59万円)

【経常経費寄附金収益】…プラス約90万円 【作業指導付帯収益】…マイナス約63万円

【その他の収益】…マイナス約95万円 【その他のサービス活動外収益】…マイナス約44万円

(※4)…費用増の主な要因

【人件費】…プラス約35万円 【事業費】…プラス約214万円

【減価償却費】…プラス約82万円 【国庫補助金等特別積立金取崩額】…プラス約21万円

【その他のサービス活動外費用】…プラス約32万円

【作業指導付帯費用】…マイナス約86万円

資金収支計算では、補正予算に比べ、事業活動資金収支差額がプラス約3万円、施設整備等資金収支差額がプラス約41万円(※5)、その他の活動資金収支差額がプラス約460万円(※6)で、当期末支払資金残高はプラス約504万円の約1億9565万円(対前年度プラス約889万円)となりました。

積立資産(退職給付引当資産を除く)は予算に基づく積み立て及び取り崩しを行い、約2億1339万円(対前年度プラス約573万円)となりました。

(※5)…施設整備等資金収支差額増の主な要因

固定資産取得支出の減

(※6)…その他の活動資金収支差額増の主な要因

北海道民間社会福祉事業職員共済会退職金処理:退職給付引当資産取崩収入約462万円

また、2023年度の算定において、社会福祉充実残額(再投下可能な財産)は生じなかったことから、社会福祉充実計画の策定は不要となりました。

《2023年度の算定》

①「活用可能な財産」…334,551,567円

②「社会福祉法に基づく事業に活用している不動産等」…0円

③再取得に必要な財産…357,131,433円

④必要な運転資金…117,852,696円

社会福祉充実残額=①-(②+③+④)≒▲140,430,000円

## 2023年度決算資料(概要)

社会福祉法人 札幌この実会

## ■事業活動計算書

※1万円未満四捨五入

|             | 本年度決算    | 前年度決算    | 増減     |
|-------------|----------|----------|--------|
| サービス活動増減の部  |          |          |        |
| 収 益         | 5億 98万円  | 4億8506万円 | 1592万円 |
| 費 用         | 4億8969万円 | 4億8699万円 | 270万円  |
| 増減差額        | 1129万円   | ▲193万円   | 1322万円 |
| サービス活動外増減の部 |          |          |        |
| 収 益         | 464万円    | 508万円    | ▲44万円  |
| 費 用         | 431万円    | 398万円    | 32万円   |
| 増減差額        | 33万円     | 110万円    | ▲77万円  |
| 経常増減差額      | 1162万円   | ▲83万円    | 1245万円 |
| 特別増減の部      |          |          |        |
| 収 益         | 393万円    | 7万円      | 386万円  |
| 費 用         | 680万円    | 0万円      | 680万円  |
| 増減差額        | ▲286万円   | 7万円      | ▲293万円 |
| 当期活動増減差額    | 875万円    | ▲76万円    | 952万円  |

## ■貸借対照表

※1万円未満四捨五入

|        |           |        |          |
|--------|-----------|--------|----------|
| 【流動資産】 | 2億1696万円  | 【流動負債】 | 2132万円   |
| 【固定資産】 | 8億3021万円  | 【固定負債】 | 3423万円   |
| 《資産合計》 | 10億4717万円 | 【純資産】  | 9億9163万円 |
|        |           | 対前年度   | 449万円    |

## ■資金収支計算書

※1万円未満四捨五入

|             | 予算       | 決算       | 差異     |
|-------------|----------|----------|--------|
| 事業活動による収支   |          |          |        |
| 収 入         | 5億 111万円 | 5億 561万円 | ▲450万円 |
| 支 出         | 4億6694万円 | 4億7141万円 | ▲447万円 |
| 収支差額        | 3417万円   | 3420万円   | ▲3万円   |
| 施設整備等による収支  |          |          |        |
| 収 入         | 393万円    | 393万円    | 0万円    |
| 支 出         | 2383万円   | 2342万円   | 41万円   |
| 収支差額        | ▲1990万円  | ▲1949万円  | ▲41万円  |
| その他の活動による収支 |          |          |        |
| 収 入         | 1331万円   | 1794万円   | ▲462万円 |
| 支 出         | 2374万円   | 2377万円   | ▲3万円   |
| 収支差額        | ▲1042万円  | ▲583万円   | ▲460万円 |
| 当期資金収支差額合計  | 385万円    | 889万円    | ▲504万円 |

|      |          |             |
|------|----------|-------------|
| 支払資金 | 1億9565万円 | 対前年度 889万円増 |
| 積立資産 | 2億1339万円 | 対前年度 573万円増 |

## 実績の推移

| 年間利用者延べ人数  |        | 実績            |               |               |               |               | 見込            |
|------------|--------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|
|            |        | 2019年度        | 2020年度        | 2021年度        | 2022年度        | 2023年度        | 2024年度        |
| サポートステーション | 生活介護   | 10,123        | 10,230        | 10,275        | 10,042        | 10,389        | 10,400        |
|            | 短期入所   | 1,015         | 813           | 826           | 983           | 1,133         | 900           |
| この実支援センター  | 生活介護   | 10,055        | 9,540         | 9,605         | 9,333         | 9,096         | 9,100         |
|            | 就労継続B型 | 3,179         | 3,061         | 2,931         | 3,425         | 3,328         | 3,400         |
| この実らひふネット  | GH     | 20,181        | 16,457        | 17,055        | 17,037        | 16,969        | 17,200        |
| この実みなぼっけ   | GH     | 2,169         | 6,745         | 6,740         | 6,690         | 6,755         | 6,700         |
|            | 短期入所   | 54            | 28            | 0             | 95            | 75            | 100           |
| 合計         |        | <b>46,776</b> | <b>46,874</b> | <b>47,432</b> | <b>47,605</b> | <b>47,745</b> | <b>47,800</b> |

| 事業活動計算     | 決算                 |                    |                    |                    |                    | 当初予算/加工            |
|------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|
|            | 2019年度             | 2020年度             | 2021年度             | 2022年度             | 2023年度             | 2024年度             |
| サービス活動収益   | 420,223,722        | 449,098,618        | 470,522,908        | 485,059,922        | 500,977,732        | 474,939,000        |
| サービス活動外収益  | 5,198,446          | 8,254,685          | 5,941,145          | 5,080,524          | 4,636,649          | 4,104,000          |
| 収益合計(除・特別) | <b>425,422,168</b> | <b>457,353,303</b> | <b>476,464,053</b> | <b>490,140,446</b> | <b>505,614,381</b> | <b>479,043,000</b> |
| サービス活動費用   | 439,336,361        | 462,741,494        | 460,390,975        | 486,988,891        | 489,688,949        | 484,496,958        |
| サービス活動外費用  | 4,577,128          | 4,306,620          | 3,853,929          | 3,983,563          | 4,307,511          | 3,660,000          |
| 費用合計(除・特別) | <b>443,913,489</b> | <b>467,048,114</b> | <b>464,244,904</b> | <b>490,972,454</b> | <b>493,996,460</b> | <b>488,156,958</b> |
| 経常増減差額     | <b>-18,491,321</b> | <b>-9,694,811</b>  | <b>12,219,149</b>  | <b>-832,008</b>    | <b>11,617,921</b>  | <b>-9,113,958</b>  |
| 特別増減差額     | <b>-4,722,198</b>  | 4,444,801          | <b>-51,181</b>     | 69,254             | <b>-2,863,939</b>  | 0                  |
| 当期活動増減差額   | <b>-23,213,519</b> | <b>-5,250,010</b>  | <b>12,167,968</b>  | <b>-762,754</b>    | <b>8,753,982</b>   | <b>-9,113,958</b>  |

|       |                    |                    |                    |                    |                    |                    |
|-------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|
| 人件費   | 297,837,719        | 322,584,436        | 311,900,680        | 332,169,940        | 332,517,711        | 327,990,000        |
| 業務委託費 | 4,004,000          | 12,012,000         | 12,012,000         | 11,352,000         | 10,315,136         | 11,165,000         |
| 人件費合計 | <b>301,841,719</b> | <b>334,596,436</b> | <b>323,912,680</b> | <b>343,521,940</b> | <b>342,832,847</b> | <b>339,155,000</b> |

|             |                    |                    |                    |                    |                    |                    |
|-------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|
| 積立資産(年度末残高) | <b>182,944,000</b> | <b>197,708,000</b> | <b>201,659,000</b> | <b>207,661,000</b> | <b>213,390,000</b> | <b>216,723,000</b> |
| 人件費積立資産     | 29,500,000         | 87,300,000         | 87,300,000         | 83,300,000         | 88,300,000         | 88,300,000         |
| 修繕積立資産      | 9,300,000          | 12,300,000         | 12,800,000         | 11,900,000         | 11,900,000         | 11,900,000         |
| 備品等購入積立資産   | 8,400,000          | 10,400,000         | 9,316,000          | 9,316,000          | 7,316,000          | 7,316,000          |
| 減価償却積立資産    | 122,244,000        | 55,308,000         | 60,843,000         | 67,745,000         | 72,954,000         | 76,287,000         |
| 建設積立資産      | 10,800,000         | 29,700,000         | 28,700,000         | 29,700,000         | 22,220,000         | 22,220,000         |
| 工賃変動積立資産    | 400,000            | 400,000            | 400,000            | 400,000            | 400,000            | 400,000            |
| 設備等整備積立資産   | 300,000            | 300,000            | 300,000            | 300,000            | 300,000            | 300,000            |
| その他の積立資産    | 2,000,000          | 2,000,000          | 2,000,000          | 5,000,000          | 10,000,000         | 10,000,000         |

|         |                   |                   |                   |                   |                   |                   |
|---------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 人件費積立資産 | <b>29,500,000</b> | <b>87,300,000</b> | <b>87,300,000</b> | <b>83,300,000</b> | <b>88,300,000</b> | <b>88,300,000</b> |
| 対前年度増減  | <b>-9,200,000</b> | 57,800,000        | 0                 | <b>-4,000,000</b> | 5,000,000         | 0                 |